

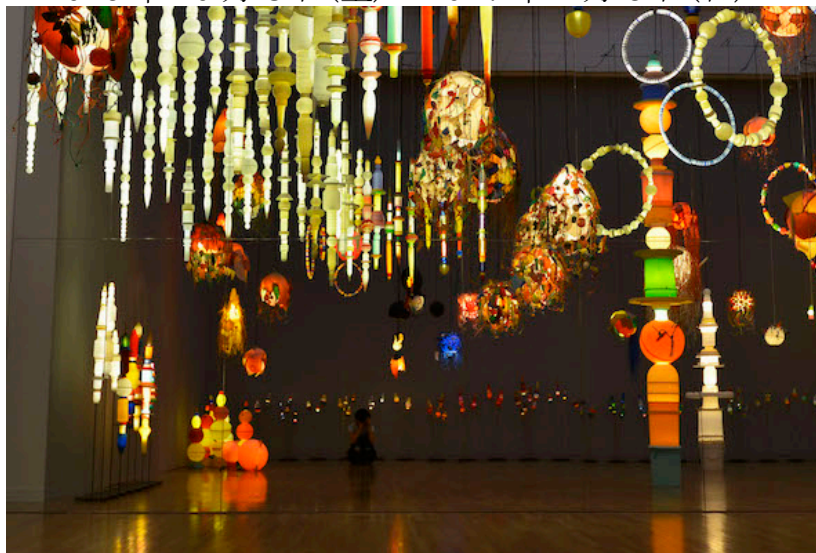
報道関係者各位

十和田市現代美術館 2016 年度 秋～冬の企画展のご案内

On the Beach

ヨーガン レール 海からのメッセージ

2016 年 10 月 8 日(土) - 2017 年 2 月 5 日(日)



図版 1 撮影：大平あさき

平素より、十和田市現代美術館の活動に対して格別のご高配、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

十和田市現代美術館では、2016 年 10 月 8 日（土）より 2017 年 2 月 5 日（日）まで、「On the Beach ヨーガン レール 海からのメッセージ」を開催します。

ヨーガン レール（1944-2014）は衣服、テキスタイル、ジュエリーなどをデザインし、その自然素材をいかした製品が高く評価されてきました。1966年の初来日以来、70年代はじめには日本に居を構え、日本やアジアの素材、技術を生かしたものづくりをしてきた彼は、技術や職人が無くなりつつあることと並行するかのよう、自然が破壊されていくことに心を痛めていました。

農園と住まいを沖縄、石垣島につくったヨーガン レールは際限なく海辺に打ち寄せるゴミに悲しみと憤りを感じ、ほどなく自分で拾い集めたプラスチックゴミをまた使えるものにしようとランプをつくりはじめます。本展はその照明作品を中心に、美しい海と汚れた海のコントラストを捉えた写真などを展示します。

また特別出品として、同じプラスチックゴミを親鳥から与えられた海鳥の死骸を撮影したクリス ジョーダンによる写真作品も展示される予定です。

ヨーガン レールは人間の生活の根源にある自然に、もう一度目を向けてもらえるよう、海洋投棄された廃棄物から美しく、また実用性のある照明をつくりました。生前、ヨーガン レールも評価していたクリス ジョーダンの写真とともに、海からのメッセージが託されます。

本作品群は東京都現代美術館、KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭などでも展示され大きな反響をよびました。十和田市現代美術館ならではの空間構成による展示が注目されます。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【開催概要】

展覧会名	「On the Beach ヨーガン レール 海からのメッセージ」
会 期	2016 年 10 月 8 日（土）－ 2017 年 2 月 5 日（日）
開館時間	9:00-17:00（入場は閉館の 30 分前まで）
休 館 日	月曜日（祝日の場合はその翌日） ただし、12 月 26 日（月）－ 2017 年 1 月 1 日（日）は冬季休館
会 場	十和田市現代美術館
観 覧 料	企画展＋常設展セット券 1000 円。企画展の個別料金は一般 600 円。 団体（20 名以上）100 円引き。高校生以下無料。
主 催	十和田市現代美術館
協 力	株式会社ヨーガンレール
後 援	東奥日報社、デーリー東北新聞社、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、十和田市教育委員会
出品協力	クリス ジョーダン、KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭

ヨーガン レール (1944-2014 ポーランド、ポーゼン生まれ ドイツ人)

1960年代、パリ、ニューヨークを中心にテキスタイルデザイナーとして活躍し、70年代初頭、日本に移住。1972年、自らの会社を起し、衣服、インテリア用品、家具、キッチンウェアなどをデザイン。ライフスタイル全般のデザインをする先駆的な存在となった。

2006年には環境に配慮し自然素材を用い、手仕事のものづくりを大切にしたブランド Babaghuri（ババグーリ）を設立。

海洋汚染に心を痛めていたヨーガンは、色とりどりのプラスチックゴミを組み合わせ、彼独自の遊び心と風刺の効いた美しくも啓発的な照明器具を仕上げた。2014 年 9 月、不慮の事故でこの世を後にしたが、残された照明は 2015 年スウェーデン、ストックホルムの Artipelag（アーティペラッグ）、東京都現代美術館にて展示された。



図版 2 撮影：高木由利子

－展覧会（グループ展）

2015 年 2 月 Artipelag（アーティペラッグ）（スウェーデン、ストックホルム）

2015 年 7 月 「おとなもこどもも考える ここはだれの場所？」展 東京都現代美術館

2016 年 4 月 「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」

－関連書籍

『メイド イン ジャパン－ヨーガン レールの テキスタイル』横尾忠則 著、パルコ出版、1983 年

『New Fashion Japan』レオナルド コレン 著、講談社（アメリカ）、1984 年

『Flair ティナ チャウによるファッションコレクション』リチャード マーティン&ハロルド コーダ 著、リッ
ォーリ社、1992 年

『ころも－ヨーガン レールの布』高木由利子 写真、トレヴィル出版、1997 年

『ZOMO』ヨーガン レール 写真 著、株式会社ヨーガンレール、2002 年

『Babaghuri』ヨーガン レール 写真 著、株式会社ヨーガンレール、2005 年

『茶の箱』ヨーガン レール、赤木明登 他 共著、ラトルズ、2004 年

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

『DACHI』高木由利子 写真、ラトルズ、2005 年

『ヨーガン レールとババグーリを探しにいく』ヨーガン レール、原由美子、高木由利子 他 共著、PHP 研究所、2009 年

『On the Beach 1』ヨーガン レール 写真、小池一子 寄稿／『On the Beach 2』ヨーガン レール 写真、HeHe、2015 年

【 特別出品 】

クリス ジョーダン Chris Jordan (1963- アメリカ合衆国、サンフランシスコ生まれ)

北太平洋の鳥の生態に自然破壊の現実を見る、写真・映像による作品 8 点を出品予定。

「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2016」において、「Midway : 環流からのメッセージ クリス・ジョーダン＋ヨーガン レール」としてプロデュース、展示されました。本展では、その一部が再現されます。

www.chrisjordan.com

www.kyotographie.jp

【 みどころ 】

浜辺に打ち上げられた大量のプラスチックを使い、ヨーガン レールは実用的なランプをつくりだしました。本展では美しい光のオブジェとなったプラスチックのランプと、ヨーガン自身が撮影した沖縄の浜辺の写真など約 140 点を展示します。

2 枚で組み合わせられた写真は、同じ場所から撮られた海辺の光景で、かつての美しかった姿と現状のゴミの散乱する状態を映しだしています。

特別出品のクリス ジョーダンは、太平洋のミッドウェー諸島に生息する鳥たちがプラスチックを食べて滅びていく様を映像と写真で捉えています。

本展では海の無残な現実と創作者のつくる幻想的な世界のギャップを体感することとなります。

【 関連イベント 】

1 トークシリーズ (3 回)

ヨーガン レールと親交の深かった方たちに、そのクリエイションと暮らしぶりについて、語っていただきます。

10 月 8 日(土)

オープニングトーク

対 談：松浦秀昭 (株式会社ヨーガンルール) × 小池一子 (十和田市現代美術館館長)

会 場：十和田市現代美術館 企画展示室

料 金：無料 *要企画展チケット

*以下は日時調整中、9 月 1 日以降にウェブサイトにて告知いたします。

11 月 (予定)

スペシャルトーク

ゲスト：高木由利子 (写真家)

会 場：十和田市現代美術館 市民活動スペース (予定)

料 金：無料 *要企画展チケット

11 月 (予定)

スペシャルトーク

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷 (おおたに)

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

ゲスト：鶴田真由（女優）

会 場：十和田市現代美術館 市民活動スペース（予定）

料 金：無料 ＊要企画展チケット

2 津軽三味線奏者の小山豊氏が美術館でライブ演奏を行います。

1 月 7 日（土）時間未定 出 演：小山豊（小山流三代目・津軽三味線奏者）、斎藤純一（ギター）

会 場：十和田市現代美術館 休憩スペース・カフェ（予定）

料 金：未定

【 作品紹介 】

インスタレーション、立体作品、写真、映像等（約 140 点）



図版 3 撮影：ヨーガン レール



図版 4 撮影：大平あさき



図版 5 撮影：大平あさき



図版 6 撮影：ヨーガン レール



図版 7 撮影：ヨーガン レール

※画像の貸し出しをご希望の際は担当までご連絡ください。

【 ヨーガン レールからのメッセージ 】

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

文明の終わり

沖縄にある海辺の家で 1 ヶ月の 3 分の 1 を過ごすようになって、15 年になります。畑を耕し、創作のアイデアを練る合間に、犬の散歩と気分転換を兼ねて家の前の浜辺におりるのが私の日課ですが、その度に悲しみと怒りが縋り交ぜになったような複雑な気持ちになるのです。

砂浜を歩きながら、美しい貝殻や珊瑚のかけらを拾うのを楽しみにしていますが、貝殻や珊瑚にも増して目に付くのが、流れ着く大量のゴミだからです。

時にはガラス製の古いブイが流れ着いていたりして、面白く思うこともありますが、流れ着くゴミのほとんどは醜いプラスチック製品のなれの果て……。発泡スチロールの切れ端、ペットボトルのふた、洗剤の容器や子供のおもちゃなど、日本のものもあれば、どこかアジアの国から流れ着くものもあります。見つける度に拾い集めるのですが、次の日にはまた流れ着いています。

とうとう私はそれらのゴミを集めて、色ごとに分類して何かを作り出そうと思いました。ゴミだけで何かを作り出せるほどに沢山流れ着くので、そのことを多くの人に知って欲しかったからです。

先日、旅をして与那国島の浜辺に降り立つ機会がありました。砂に足を踏み入れて歩くうちに何ともいえない違和感を覚えました。思わず砂に手を差し込んでつかみ、目をこらしてみても衝撃を受けました。砂の中に、砂と同じくらい細かく砕かれたプラスチック片が、びっしりと混ざっているのが分かったからです。

遠目には美しく見える砂浜なのに、こんなことになってしまっている。誰でもない、人間がしたことです。これは文明の終わり……。私にはそう思えてなりませんでした。

私は日本人ではありませんが、この国に来て 40 年以上も住んでいます。美しかった日本を覚えています。もしも許されるなら、ずっとこの国で暮らしたい。

だから知って欲しいのです。こんなに汚れてしまったことを、そして、ゴミを取り除くことの必要性を、ゴミを出さない暮らしの重要性を。これは日本だけの問題ではなく、世界中に伝えたいことです。

ゴミには目に見えるものもあれば、目に見えないものもあることを皆さんはご存知でしょう。そのどちらも増え過ぎれば、文明の終わりを招き寄せます。おそらく地球自身は、自浄の努力をしていることでしょう。けれど、浄化のための大きな力になるのは、一人ひとりの小さな人間の力の集結でしかないのです。

もし、多くの人がそのことに気付くために何かができるなら、今しなければならぬと思う気持ちを止めることはできません。

醜いプラスチックのゴミを大量に見せただけでは、その恐ろしさを分かってもらえないのなら、私はそのゴミを使って、何か自分が美しいと思うものを作り出す努力をします。ただ美しいだけのオブジェではなく、もう一度人の役に立つ実用的なものに変えましょう。これは、ものを作ることを仕事にしている私の小さな抵抗です。それによって、この大量のゴミに目を向けてもらえるように。私はこれを自分の最後の仕事だと思っています。

2014 年 9 月 ヨーガン レール

出典：ヨーガン レール『On the Beach 1』発行：HeHe / ヒヒ <http://hehepress.com>